

離転職者等職業訓練「保育科」募集案内 訓練生募集

県立和歌山産業技術専門学院では、下記のとおり訓練生を募集しています。
受講を希望される方は、住（居）所地管轄のハローワーク窓口までご相談ください。
また、申込みにあたっては、この募集案内のほか別添「令和4年度 学生募集要項（配布用）」もご確認ください。その際、出願に先立ち必ず和歌山信愛女子短期大学（073-479-3330）に問い合わせてください。

◇訓練科目 「保育科」

◇訓練施設 和歌山信愛女子短期大学
和歌山市相坂702-2
(厚生労働省指定 保育士養成施設)
TEL 073-479-3330

1. 訓練期間 令和4年4月2日（土）から令和6年3月31日（日）〈2か年〉
(予定) ※訓練修了日は、令和6年3月31日より早くなる場合があります。
2. 募集定員 2名
3. 対象者 下記のすべての項目に該当する女子
・令和4年4月1日（金）に満20歳以上の方。
・保育士分野での就職を希望し、公共職業安定所長の職業訓練の受講あつせんが受けられること。
・国家資格等高い知識及び技能を習得し正社員就職を希望する方。
・当該訓練コースを修了し対象資格等を取得する明確な意思を有する方。
・ハローワークにおける職業相談においてジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングにより当該訓練の受講が必要と認められる方。
・高等学校卒業または、同程度の課程を修了していることが必要です。
令和4年3月大学・高等学校卒業予定者は対象としません。
4. 訓練経費 無料。ただし、教科書代、実習着等の費用は自己負担となります。
(2年間で150,000円程度)
5. 募集及び選考
・令和4年2月1日（火）から令和4年2月15日（火）まで。
・住（居）所地を管轄するハローワークで相談のうえ、入学願書にて所定の手続きをしてください。
※入学願書の申込みとは別に訓練施設の入学願書等に高等学校の卒業を証する書面〔調査書（厳封したもの）もしくは卒業証明書〕を添えて直接訓練施設に令和4年2月16日（水）から令和4年2月22日（火）までに提出する必要があります。
・令和4年3月2日（水）に訓練施設において課題作文（600字程度）、面接による選考を行います。（9：50入場完了、選考開始10：00）
6. 訓練時間等 原則 月曜日～金曜日（土：補講の可能性有、日・祝日：休み）
1日8時限程度（9：00～17：00）
※履修状況により終了時間は異なります。
但し、訓練施設のカリキュラムにより、宿泊訓練や夜間実習、土・日・祝日も訓練を行なう場合有。
7. 通学 公共交通機関利用もしくはマイカーでの通学となります。マイカー通学を希望される場合は要申請のこと。
8. 訓練概要 厚生労働大臣指定の保育士養成課程のカリキュラムを中心に、保育士としての幅広い知識と技能を習得します。
9. 取得目標とする資格 保育士限定（幼稚園教諭二種免許状は取得できません）
※目標とする資格取得が見込めない場合は、退校処分となります。
10. その他 令和4年度和歌山県予算が成立しなかった場合、又は厚生労働省との協議が整わなかった場合、本事業は実施しません。また、定員数に関し厚生労働省との協議で変更となる場合があります。

一定の要件を満たす方は「求職者支援制度」により「職業訓練受給給付金」の支給等を受けることができます。詳しくは、ハローワークにお問い合わせください。

問い合わせ先
和歌山県立和歌山産業技術専門学院 総務課
和歌山市小倉90
TEL 073-477-1253

訓練施設 和歌山信愛女子短期大学

和歌山市相坂 7 0 2 番 2 tel. 073-479-3330



委託訓練カリキュラム（２年間）

訓練科目	保育科：和歌山	就職先の職務	保育士
定員	2名		
訓練期間	令和 4年 4月 2日 ～令和 6年 3月 末日		
訓練目標	厚生労働大臣指定の保育士養成課程のカリキュラムを中心に、保育のスペシャリストとしての幅広い知識と技能を修得する。		
取得目標資格	保育士（国家資格）		
	科 目	科 目 の 内 容	時間数
	入校式・修了式		100
	オリエンテーション（1年次・2年次）		1000
	試験（1年次・2年次）		1900
	信愛教育Ⅰ	聖書と入門書をテキストとして、建学の精神の基礎となるキリスト教を学ぶ。 講義の他に、祈り、聖歌練習、ミサなどの宗教行事への参加をとおして精神生活を豊かにし、人格の向上を図る。	1400
	英語ⅠA	基礎文法と英文の構造を学び、読解力、スピーキング、リスニングと発音、日常会話の能力を養い、用語を増やし、自己紹介文を書く。	1400
	保健体育実技	これまでに培ってきた基本的な技術段階の上に、保育者として必要な裏付けとなる理論を深め、より高い技術能力を養うとともに援助法を学ぶ。また、「動くことの楽しさ」、「生涯体育の意義」を学び、生涯を通しての「健康づくり」の為、健康管理法を身に付ける。	2100
	保健体育講義	高等学校までの保健体育の知識の上に、集大成として、生涯を通しての「健康づくり」に対する考え方を養い、実践方法を身に付ける。	700
	保育のこころ	信愛・保育科の教育理念の体得をめざし、保育のこころと奉仕の精神を理解する。また、保育者を目指すために必要とされる基礎技術や、保育現場に入るための保育学生としての基本的な心得を身に付ける。そして、近隣地域保育施設の体験を通して、和歌山の保育の実状と課題を発見する。	1400
	保育原理Ⅰ	保育に関する基礎・基本を理解することを目的とする。また、保育の歴史や思想、子どもを育てる社会の現状と課題などについて理解し、保育者としての役割を幅広い視野から学ぶ。	1400
	教育原理	人間は教育を前提とする存在である。しかし現代社会において教育の概念は多岐にわたっており、その本来性が見失われているような実態もある。人間的かつその人らしく生きるためには、どのような教育が必要か。乳幼児の教育・保育に人間教育の原点を見出す。	1400
	子ども家庭福祉	保育士は、児童福祉法にその法的根拠をもつ福祉専門職である。保育士として社会に貢献するうえで欠かすことのできない、児童家庭福祉の歴史・理念・制度、子どもと家族を取り巻く現代的課題について学ぶ。	1400
	社会福祉	この世に生をうけてから亡くなるまでの生涯にわたり、私たちの生活と社会福祉は密接な関わりを持っている。具体的なトピックを取り上げながら、福祉専門職としての保育士に求められる、社会福祉の歴史・理念・制度・政策などについての基礎知識を学ぶ。	1400
	社会的養護Ⅰ	保育士や児童指導員としての基礎的知識や基本原則、その体系、各児童福祉施設におけるその内容、施設職員としてのあり方、そこで暮らす子どもたちの実際の姿と支え方について理解や認識を深める。	1400
	保育者論	保育専門職としての保育者（幼稚園教諭・保育士）の職務と責務を理解し、保育者としての自覚や使命を培うとともに、職務を遂行する上で必要な基礎知識を習得し、心構えをつくる。受講ノートの作成を通して、将来の保育記録技術を養う。	1400
保育の心理学Ⅰ	乳幼児を理解するための「人間関係の成り立ち」について発達を追って捉え、人生の各段階の課題を理解し、共感的理解の基礎について把握する。また、発達障害について正しく理解し、実際の保育現場でよく見られる子どもの状態やその具体的な対応策について修得する。	1400	

子どもの保健	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義や子供の身体的な発育・発達と保健について理解すると共に、子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解する、さらに、子どもの疾病とその予防法及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解する。	1400
教育課程論	保育・教育課程は、指導計画や日々の保育・教育を展開する際のよりどころとなる。保育・教育課程の意義を理解するということは、和歌山県をはじめ、現代社会における保育・教育の課題や乳幼児への理解をより深めるということでもある。	1400
保育内容総論	保育内容とは保育・幼児教育の特性を具体的に示すものである。保育内容総論では、今日の保育・幼児教育の現状（和歌山を含む）をふまえて、俯瞰的視点で保育内容を捉える。	1400
保育内容演習（環境）	子どもの発達を幼稚園教育要領および保育所保育指針にある領域「環境」の観点から捉え、子どもの理解を深めながら保育内容について具体的に学ぶ。講義やグループ討議、保育実践を通じて子どもと環境とのかかわり、保育のポイントなどを理解していく。	1400
保育内容演習（言葉）	乳幼児期における言葉の発達の道筋を取り上げる。また、子どもの言語発達にふさわしい応答性の豊かな保育環境を構成するための保育者の援助について検討する。絵本の読み聞かせの演習も導入し、実践的な学びを構成する。	1400
保育内容演習（健康）	幼児期を、生涯にわたって必要になる健康をつくる時期とし、乳幼児の心と体の発達について基礎的な知識を学び、それを踏まえ、幼稚園による教育の基本・保育所による養護と教育の一体性に基づく保育実践に向けた応用的知識・技術を見に付ける。	1400
保育内容演習（表現）	領域「表現」のねらいや内容を中心に、表現をどう捉えるか、表現をめぐる保育者の役割、表現を保证する保育のあり方等を講義や実践を通して学習する。	1400
乳児保育Ⅰ	乳児についての理解を深めるとともに、現場の事例をもとに乳児を取り巻く現況について理解し、乳児保育を行う際に必要な知識や技術を学習する。	1400
子どもの健康と安全	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助、関連するガイドラインや近年のデータ等を踏まえ、衛生管理・事故防止及び安全対策・危機管理・災害対策、感染症対策やまた保健的対応の基本的な考え方を踏まえ、子どもの発達や状態等に即した適切な対応について具体的に理解する。さらに、子どもの体調不良等に対する適切な対応、健康及び安全の管理に関わる、組織的取組や保健活動の計画及び評価等について理解する。	1400
保育の心理学Ⅱ	乳幼児の身体・認知・社会性・言語の各発達段階の課題を理解するため、遠城寺式発達検査法を用いた発達段階の把握の方法を学ぶ。発達障害について、具体的な対応策について修得する。	1400
子どもの言葉	幼稚園教育要領・保育所保育指針にある領域「言葉」のねらいと内容についての理解を深めると共に、子どもにとっての言葉による表現活動の意義・目標を理解する。また、子どもが発達段階に応じた豊かな言葉や表現を身に付け、想像する楽しさを広げるために、必要とする専門的事項に関する知識を身に付ける。	1400
基礎ゼミ	保育・教育に関する諸課題を視野に入れつつ、保育園・幼稚園を取り上げて、そこでの教育・保育ならびに教育者・保育者のあり方を検討し、それにかかわる基礎教養を形成する。近隣地域保育施設の体験を通して、和歌山の保育の実状と課題を発見する。	1400
ピアノⅠ	前期…個人の技能レベルに即して、ピアノ課題曲（９段階のグレード設定）と生活の歌を学習する。後期…弾き歌い曲を学習する。レッスンノートに自己の学習記録を書く。	2800
図画工作	年間の計画に基づいて、素描、水彩画、彫塑、版画、デザインなど美術や図画工作の基礎基本を学ぶとともに、美術文化や生活の中の造形についても学習する。	2800
ボランティア論	ガイダンスにてボランティアに参加する意義や目的、準備や流れ、留意点などについて理解する。そして、大学認定の主に和歌山の地域におけるボランティア活動に積極的に参加し、振り返りのレポートを作成する。また、まとめとして活動全体の総括を行う。	時間の設定が困難

信愛教育Ⅱ	聖書と入門書をテキストとして、建学の精神の基礎となるキリスト教を学ぶ。 講義の他に、各種の講話や祈り、ミサなどの宗教行事への参加を通して、精神生活を豊かにし、奉仕の心を培う。	1400
日本国憲法	憲法の基本原理を理解したうえで、日本国憲法の各規程を見ていき、それら基本原理が日本国憲法の中でどのように反映され、どのように保障されているか明らかにする。なお、身近な憲法問題について関心を持って講義に臨むことを希望する。	1400
情報処理演習	インターネットを活用した情報の収集方法やワードプロセッサによる論文とレポートの作成方法、表計算ソフトウェアによるデータ処理などに必要なコンピュータリテラシーについて学習します。	1400
子ども家庭支援論	子育て家庭に対する支援の意義・目的や保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本への理解を深めると共に、子育て家庭に対する支援の体制を学び、子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開と子育て支援の現状と課題について考察する。	1400
地域子育て・子育て支援論	本科目は、和歌山県を中心とした地域の子育て・子育て支援について理解し、専門的知識を身につけて地域貢献ができる人材育成を目指す。厚生労働省が参考として示すファミリー・サポート・センターの提供会員への講習と同等の内容を満たしている授業である。（和歌山県福祉保健部認定）	1400
子ども家庭支援の心理学	障害発達に関する心理学の基礎的な知識を習得し、初期経験の重要性、発達課題等について理解すると共に、家族・家庭の意義や機能、親子関係や家庭関係等について発達の観点から理解を深める。さらに、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得し、子育て家庭をめぐる現在の社会的状況と課題、子どもの精神保健とその課題について理解する。	1400
幼児理解と教育相談支援	子どもの発達の特徴及び、幼児理解の意義や方法を学ぶ。また、幼児理解をより適切に行うために保育場面の観察・記録の意義、目的、目的に応じた観察方法等を修得し、教育相談を実践するための援助に関する基礎的な知識を理解すると共に、保護者を含めた組織的な取り組みや連携の重要性、子どもの理解に基づく保育士の援助や態度の基本について理解する。	1400
子どもの食と栄養	基礎的な栄養学を理解する。 時代と共に変化しつつある和歌山を中心とした食生活の現状と問題点を正しく理解する。 保育所・幼稚園において食生活改善のために具体的な教材作りを身につける。 食育の実践的な指導方法を修得する。	1400
乳児保育Ⅱ	3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わり方の基本的な考え方について理解する。また、養護及び教育の一体性を踏まえ、3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境、配慮の実践について学びと共に、乳児保育における計画の作成について、具体的に理解する。	1400
社会的養護Ⅱ	子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容、施設養護及び家庭養護の実践について学びと共に社会的養護における計画・記録・自己評価の実践について理解する。さらに、社会的養護に関わる相談援助の方法・技術、子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。	1400
保育内容演習（人間関係）	幼稚園教育要領における領域「人間関係」のねらいと内容の理解を深める。 保育者としての役割、子どもや保護者とのかかわりについて理解する。 保育現場において臨機応変に対応できる力を身につける。	1400
子どもの自然遊び	子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境と保育所保育指針に示されている保育の内容を理解した上で、身近な自然を教材とした遊びを豊かにするために必要な知識や技術、保育の環境の構成及び展開のための技術を実践的に習得する。	1400
子どもの言葉遊び	子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境と保育所保育指針に示されている保育の内容を理解した上で、子ども自らが児童文化材を教材とした遊びを豊かにするために必要な知識や技術、保育の環境の構成及び展開のための技術を実践的に習得する。	1400
子どもの表現遊び	子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境と保育所保育指針に示されている保育の内容を理解した上で、身体、造形、音楽表現などのさまざまな表現遊びを豊かにするために必要な知識や技術、保育の環境の構成及び展開のための技術を実践的に習得する。	1400
幼児体育Ⅰ	幼児の基礎運動技能を育むため、自らいろいろな運動遊びの実践と理論を踏まえ、個人の活動意欲に応じた適切な運動体験の援助力を養う。	1400

	障害児保育	保育現場では、理解し難く、関わりが難しい発達に 気になる子どもたちについての対応が求められる。 様々な障害について理解を深めながら、障害を抱え る子どもが健やかに成長していくための保育現場に おける生活環境の在り方と保育者の役割、和歌山の 状況について修得する。	1400
	子育て支援	保育士が行う保育の専門性を背景とした保護者に対 する相談、助言、情報提供、行動見本の提示等の支 援（保育相談支援）について、その特性と展開を具 体的に理解すると共に、子育て支援について様々な 場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実 践事例等を通して具体的に学ぶ。	1400
	保育・教職実践演習（幼稚園）	保育者に必要な①使命感、責任感、教育的愛情、② 子ども理解やクラス経営、③保育内容の指導力、④ 社会性や対人関係能力といった4つの資質と能力を 確認し、高めるための内容を取り上げる。実技の演 習、模擬保育、意見交流等を取り入れ、互いに研鑽 し合う。模擬保育に関しては、本演習担当教員に加 えて、教科担当教員の指導助言も踏まえ、計画、実 践を行う。	1400
	特別支援教育	様々な障害等により特別の支援を必要とする子ども 達が抱える特性を理解し、個別の教育的支援ニーズ に関する知識や支援方法を学ぶ。また、組織的な対 応を促進するために校内連携、関連機関との連携の 在り方についての知識を身に付ける。	1400
	保育内容演習（自然）	幼稚園教育要領・保育所保育指針にある領域「環 境」のねらいや内容を、子どもと自然との関わりを 深める保育という観点から捉えなおす。豊かな自然 を利用し、観察、飼育・栽培活動、保育実践、グ ループ討議等を通じて子どもが自然と関わることの 意義を理解する。	1400
	保育内容演習（造形）	教材の研究や模擬保育、鑑賞をとおして造形表現の 楽しさと様々な表現技法を学び、指導法についても 研究する。また、身近な材料による玩具作りにも取 り組む。	1400
	卒業研究	和歌山地域における保育・教育の課題を各自の観点 から捉え、その課題解決に向けて研究主題を決め、 学術研究に取り組む。メンバーと協力し合いながら 研究発表を行い、学術的な内容と形式を備えた卒業 論文を作成する。	2800
小 計			74400
実 習	保育実習Ⅰ	1年次2月・3月、主に和歌山県下の保育所と福祉 施設に於いて、それぞれ10日間、計20日間の実 習を行う。最終評価は2年後期に行う。	9600
	保育実習指導ⅠA	実習を円滑に進めていくために保育に関する理論と 実習の意義・内容、実習までの準備や心構えを学 ぶ。授業の時期や内容については、状況に応じて柔 軟に対応する。 最終評価は2年後期に行う。	1400
	保育実習指導ⅠB	実習を円滑に進めていくために保育に関する理論と 実習の意義・内容、実習までの準備や心構えを学 ぶ。授業の時期や内容については、状況に応じて柔 軟に対応する。 最終評価は2年後期に行う。	1400
	保育実習Ⅱ	保育実習Ⅰ（保育所実習・施設実習）で体験学習し たことをもとに、さらに保育所において実習を行 う。見学・観察を継続し理解の段階を高め、参加・ 責任実習をとおして、乳幼児の理解と保育所保育士 の職務を具体的に学ぶ。※2年次、夏期休暇中に主 に和歌山県下の保育所における実習を10日間行 う。	4800
	保育実習指導Ⅱ	保育所実習の事前事後指導を通して、実習の総括と 自己評価を行い、保育に対する課題や認識を明確に する。実習後、実習体験の発表、担当教員との個別 面談指導を行い、実習の総括としてレポートを作成 する。授業の時期や内容については、状況に応じて 柔軟に対応する。	1400
小 計			18600
合 計			93000
就職支援の具体的内容		実習指導を通じた就職支援	
使用する機械・器具・教材等		プロジェクター・ML教室・楽器・保育演習用具・運動用具等	

和歌山信愛女子短期大学 社会人特別選抜

離転職者等職業訓練「保育科」

令和4年度 学生募集要項

社会人特別選抜日程

出 願 期 間	選 考 日	試験場	合 格 発 表
令和4年2月16日（水）～2月22日（火）	令和4年 3月2日（水）	本学	令和4年 3月3日（木）

出願資格

下記のいずれかに該当する女子

- (1) 高等学校もしくは中等教育学校を卒業した者。
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者。
- (3) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者。

出願条件

出願資格を有し、下記のすべての項目に該当する者

- (1) 令和4年4月1日に満20歳以上の者。
- (2) 保育者としての適性が認められる者。

※初心者の方は、基礎的な技術レベルであるバイエル80番程度まで練習しておいてください。

取得できる資格

保育士限定（幼稚園教諭二種免許状は取得できません）

出願方法

出願は郵送（締切日必着）、または、直接持参も可能です。

出願書類は一括して本学所定の出願用封筒に入れ、郵送の場合には願書提出先に書留速達で郵送してください。直接持参の場合は、出願期間の月曜日から金曜日の午前9時から午後5時まで、土曜日は午前9時から正午までに本学入試事務室に提出してください。（日・祝日は願書の受付をいたしません。）

願書提出先

〒640-0341 和歌山市相坂702-2 和歌山信愛女子短期大学 入試事務室

出願書類

（1） 入学願書

本学所定の用紙に必要事項を記入し、写真を貼付してください。

（2） 出身高等学校の調査書（調査書が入手できない場合は、高等学校卒業証明書でも可能です。）

（3） 履歴書：中学校卒業から現在までを記入してください。（様式は特に定めません。）

（4） 健康診断書

医師の作成した健康診断書（最近6ヵ月以内のもの。視力・聴力・結核およびその他の疾病、異常など）を出願書類とともに提出してください。（様式は特に定めません。）

（5） 封筒2通 （受験票送付用封筒・合否通知用封筒）

封筒に志願者の住所、氏名を記入し所定の切手を貼付してください。

選考方法

選考方法（全学科共通）	
・課題作文	与えられたテーマについて、自分の考え方・意見等をまとめ600字程度で記述する方式です。
・面接	【重視】

選考日程

（試験場 和歌山信愛女子短期大学）

	9:50	10:00~10:50	11:10~
令和4年 3月2日（水）	試験場 入場完了	課題作文	面接

受験上の注意

- (1) 受験票を必ず持参し、入学試験受付で提示し入場してください。
- (2) 受付は午前9時から開始します。
- (3) 試験開始10分前までに必ず試験場へ入場してください。受験番号と机上の番号が一致するように着席し、受験票を机上の右上に置いてください。
- (4) 30分以上の遅刻をした場合は、原則として入場できません。
- (5) 筆記用具〔鉛筆（シャープペンシルを含む）、消しゴム〕、時計〔計時機能だけのもの〕および上履きは必ず持参してください。
- (6) 試験場では携帯電話等の音の出る機器類は電源を切り、かばん等に入れて身につけないようにしてください。
- (7) 試験当日または前日までに新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ様症状（急な発熱と咳、喉の痛みなど）を発症し受験できない方は、その旨を試験開始までに入試事務室（TEL.073-479-3330）に連絡してください。
- (8) 試験場・控室においては、すべて監督者の指示に従ってください。

試 験 場 和歌山信愛女子短期大学 和歌山市相坂 702-2

合格発表

令和4年3月3日（木）

☆合格通知は速達郵便により本人宛に通知します。

☆電話による問い合わせには応じません。

入学手続要項

入学手続きについては、「2022年度学生募集要項(青刷)」（19～21頁）を参照してください。

訓練経費

入学検定料、入学金、学費、教育充実費は無料。

ただし、教育後援会費、教科書代などの費用は自己負担とします。

※金額は前年度参考。2年間で150,000円程度

社会人特別選抜に出願する場合は、出願に先立ち、必ず入試事務室に問い合わせてください。

※ 個人情報の取り扱いについて

ご提出いただいた個人情報は、本学から志願者への照会や入試関係書類の送付等の入試関連業務のみに使用します。また個人情報は、一定期間、厳重に保管の後、適正に処分させていただきます。

別記第3号様式(第8条関係)

入 学 願 書

年 月 日

和歌山県立和歌山産業技術専門学院長 様

貴学院で施設外訓練を受けたいので、出願します。

ふりがな			生年月日	年 月 日	年齢	歳
氏 名						
住 所	〒		電話 () -			
			携帯電話() -			
受講コース名	保育科 (和歌山信愛女子短期大学)					
受講の期間	令和4年 4月2日 (土) ~ 令和6年 3月31日 (日)					
申込前の	事業所名					
	所在地					
事業所	職 種					
	離職年月日					
職業訓練 受講歴	有・無	公共・基金 求職者支援	科	受 講 期 間	年 月 ~ 年 月	
		公共・基金 求職者支援	科		年 月 ~ 年 月	
		公共・基金 求職者支援	科		年 月 ~ 年 月	
申込みの 具体的理由						

※公共職業安定所記載欄	
所管公共職業安定所 和歌山・橋本・海南・湯浅・御坊・田辺・新宮・串本 (該当項目に○印)	
担当者名	
応募者区分	○受講指示 ①雇用保険法第15条第1項 ②労働施策の総合的な推進並びに労働者の雇用の安定及び職業生活の充実等 に関する法律施行規則 第 条第 項第 号
	○支援指示
	○受講推薦
	○その他 ()

備考 受講コース名は、受講を希望する施設外訓練のコース名を記入すること。